

神道政治連盟愛知県本部総会



服部憲明会長挨拶



有村治子氏に推薦状



有村治子氏講演

9月21日、熱田神宮会館にて神道政治連盟愛知県本部総会が290名出席のもと開催された。神宮遥拝、国歌斉唱、神政連宣言綱領唱和の後、服部憲明県本部会長より「神政連四十周年記念誌の完成に祝し、同時に活動に協力を頂いた皆様にお礼を申上げる。一昨年の大震災より後現政権下で復興は進んでいない、更に尖閣・竹島・北方領土等我々の大切な領土について問題が次々に起こっている。こういう中で神道政治連盟は日本精神を以て国政を運営してゆく理想を実現しなければならない」との言葉があった後、参議院議員有村治子氏に県神政連よりの次期参議院議員選挙での推薦状が手渡された。続いて長曾我部延昭神政連中央本部会長、小串県神社庁長、参議院議員藤川政人氏、同有村治子氏、衆議院議員鈴木政治氏、同丹羽秀樹氏の各来賓より挨拶があり、来賓紹介、祝電披露の後、議事に入り、平成23年度神政連県本部活動概要、会員増強、平成24年度神政連県本部活動方針など協議、いずれも承認された。

その後、参議院議員有村治子氏より『見つめよう 日本人の生き方』と題しての講演があった。氏は「東日本大震災以降、日本人は当たり前の生活の中に掛け替えのない幸せがあることに気付いた。政治はそれを守るためにあり、その積み重ねによって日本の国家や国柄が作られてきた。かつての自民党は経済成長を追い求める余りそれを国民に語り切って来なかったから3年前政権交代が起こった。今後自民党は、内政や外交・安全保障を立て直し、世界に誇るべき日本の国柄を守って行かなければならない。神道政治連盟は父祖の伝統を大切にしてきた組織であり、共に活動して行きたい」と語られた。

最後に聖寿の万歳を以て総会を締め括った。